講演とコンサート

アートとケア —あなたと共に—

2025 7/13（日）

14：00-16:30

日本キリスト教団　行人坂教会
東京都目黒区下目黒 1-4-1 ※地図は裏面
参加費 1,000 円

主催：「アートとケア・いのちの対話館」
共催： NPO 法人キャンサーリボンズ
事務局：『気球の旅』を共に

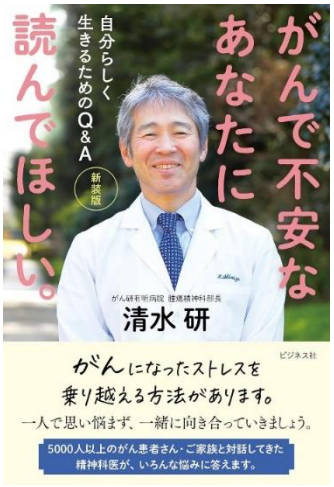
講 演：清水 研さん 『 不安を味方にして生きる 』
バイオリン ＆ ピアノ：清水 研さん、米田真希子さん
オルガン演奏：飯 靖子さん
トーク「 アートは、ケア 」進行：岡山 慶子

＜出演者プロフィール＞

清水 研：がん研有明病院腫瘍精神科部長、精神科医・医学博士、がん患者 5,000 人以上とその家族との対話経験を持つ。著書『もしも一年後、この世にいないとしたら。』、『他人の期待に応えない』、『絶望をどう生きるか』など多数。メディア掲載（NHK、朝日新聞、産経新聞、ほか）。

米田真希子：プロピアニスト。ブラジルの一線で活躍後乳がん治療の為帰国。その後上肢リンパ浮腫を発症、2024 年再発。1 人の人間としてリンパ浮腫とがんとの共存と向き合いながら、音楽への情熱を持ち続け、自分らしい挑戦を続けている。HP: makikoyoneda.com

飯 靖子：桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業、国立音楽大学大学院オルガン科修了。ドイツライプチッヒ音楽院に留学。元青山学院女子短期大学教授。現在、霊南坂教会オルガニスト、聖歌隊指揮者。日本キリスト教団賛美歌委員会委員。東京 21 合唱団音楽監督。キリスト教ラジオ放送局日本 FEBC パーソナリティ。





「バイオリンと私～全体的な自分になるために～」清水 研さん
「音に導かれ、こころに出会う」米田真希子さん

お申込みはこちら▼

※当日入場も可能です。会場へ直接お出で下さい。
※※暑さなど、当日のご体調を優先されてご無理のないようにご参加ください。

■NPO 法人キャンサーリボンズ

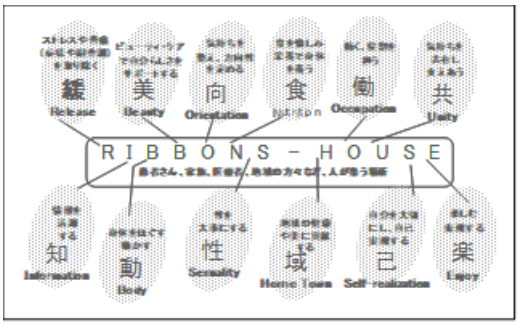
NPO 法人キャンサーリボンズは、「がん治療と生活をつなぐ」というコンセプトのもと、がんサバイバー、がんを治療する様々な領域の専門医、精神腫瘍医、産業医などの医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、生活シーンの専門家、企業などが協働しています。活動の土台を、「こころのケア」「生きる力や価値観の再構築」に置いていることが特徴です。

理事長：中村清吾（昭和大学臨床ゲノム研究所長）※2025 年 5 月 9 日逝去

副理事長：岡山慶子（㈱朝日エル会長）

委員：清水研（こころプロジェクト）

事務局長：廣瀬瑞穂



■「アートとケア・いのちの対話館」

NPO 法人キャンサーリボンズが始めた医療者や科学者・アーティストとの対話を通して、「いのちとは何か、生きるとは何か」を見つめなおすプロジェクトとしてスタート。現在は、がん領域のみならず、障害のある方など様々な分野でアートと協働しています。取組例は

◎「美術」:「アートとケア対話的講演会～天に向かって、地に向かって、脱皮する生」（対談：中村桂子／生命誌研究者、木下晋／鉛筆画家)、「“いのちを刻む”鉛筆画家・木下晋の眼差しをめぐって」（鼎談：中村清吾、神代浩／元東京国立近代美術館館長、岡山慶子）

◎「音楽・演奏」：だれでもピアノ®の演奏を通した Well being の向上（新井鷗子／東京藝術大学客員教授、朝日エルと共に桑名市総合医療センターへ日本初となる医療現場へのだれでもピアノ ®を導入）

◎「声・文学」：朗読ワークショップ、朗読ＣＤ 『あなたには、明日、生きる意味がある』

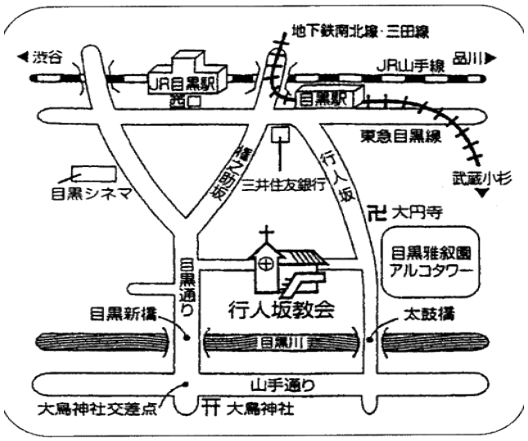
■『気球の旅』を共に

米国のメイヨ・クリニックで腫瘍精神科医として活躍された丸田俊彦先生から「気球の旅」と「アヴェイラブル（＝“あなたと共にいるという関係性”)」を学びました。

『気球の旅』は風にゆだねる旅です。空には光。眼下に広がる風景には植物の姿が見えます。野に咲く花、緑の森、畑の野菜――自然のいとなみが遠くからでも静かな生命の力を伝えてくれます。それら全が共にあることに気づかされます。

私たちの暮らしは、気球のように自由でありながら豊かなゴールへの旅。それは、一人ではできないから必要な時にそっと側にいてくれるアベイラブルな関係性が大切です。岡山慶子、高島元子

■会場のご案内



日本キリスト教団　行人坂教会

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-4-1

☎03-3491-7365

最寄り駅

ＪＲ山手線「目黒」駅 徒歩 5 分

東急目黒線「目黒」駅 徒歩 5 分

東京メトロ南北線「目黒」駅 徒歩 5 分

都営三田線「目黒」駅 徒歩 5 分